

養成大学・大学院の「心理実習」
「心理実践実習」のあり方
— 実習指導マニュアル・実習記録ノートも含め
て —

元永拓郎

(日本公認心理師養成機関連盟・帝京大学)

アウトライン

1. 国民（国）から養成大学（大学院）に求められるもの
2. 法令に基づく実習（演習）の構築
3. 学部「心理演習」「心理実習」から大学院「心理実践実習」への接続
4. これまでの臨床心理士養成の実績を活かす
5. 全国で質の高い実習を構築する
6. 「実習指導マニュアル」と「実習記録ノート」
7. 実習成果をどう評価するか
8. 経過措置で学部卒業の大学院生の養成

<出典>

1. 国民（国）から養成大学（大学院） に求められるもの

- 国民の期待に応えられる心理専門職を養成する
 - 「公認心理師」（名称独占）の質を保つ
 - 全国のどこでも質の保証された支援を受けられる環境を作る
 - 高い職業倫理を有する人材を継続して養成する
 - さまざまな施策遂行の一翼を担える（多職種連携ができる）人材を育成する
 - 地域の諸機関と協働で人材を養成する実習を持続的に提供する
 - これまでの心理専門職養成の実績を活かしさらに発展させる
- その他

2. 法令に基づく実習（演習）の構築

- 公認心理師法、施行規則、文部科学省・厚生労働省通知、公認心理師カリキュラム等検討会報告書などの法令または法令に即した基準を遵守した実習（演習）の構築
- 法令を遵守した実習計画を国に提出し承認を得ることが必要
- 実習（演習）が法令通りに実施されているかについて、必要な記録を残す仕組み（モニタリング）
- 質を保った持続可能な実習を行うため、教員の質の確保、大学全体からの支援体制、実習施設との連携などの体制の構築
- 到達目標に基づいた実習（演習）の評価が重要（アカウンタビリティ）

大学及び大学院の法令に基づく実習（演習）

①大学学部：公認心理師科目 25 科目

* うち 2 科目が該当「心理演習」「心理実習」

「心理演習」（単位取得）→「心理実習」（90h）

②大学院：公認心理師科目 10 科目

* うち 2 科目が該当「心理実践実習」（450h）

* 詳細は、「公認心理師カリキュラム等検討会 報告書」

学部「心理演習」の内容

* “文部科学省・厚生労働省通知（平成30年11月22日）「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」の一部改正について”から引用（下線枠線等は発表者）

知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次の（ア）から（オ）までに掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、かつ、事例検討で取り上げる。

（ア）心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得

- （1）コミュニケーション （2）心理検査 （3）心理面接
（4）地域支援 等

4 業務

（イ）心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成

（ウ）心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ

（エ）多職種連携及び地域連携

（オ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

連携・倫理

学部「心理実習」の内容

*“文部科学省・厚生労働省通知（平成30年11月22日）「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」の一部改正について”から抜粋（下線枠線等は発表者）

- ① 実習生が、次の（ア）から（ウ）までに掲げる事項について、主要5分野の施設（略）において、見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は実習担当教員による指導を受けるべきこと（以下略）。
- ② 実習担当教員が、実習生の実習状況について把握し、次の（ア）から（ウ）までに掲げる事項について基本的な水準の修得ができるように、実習生及び実習指導者との連絡調整を密に行う。
 - （ア） 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ
 - （イ） 多職種連携及び地域連携
 - （ウ） 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

連携・倫理

大学院「心理実践実習」の内容

*“文部科学省・厚生労働省通知（平成29年9月15日）「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」から抜粋（下線枠線等は発表者）

① 実習生が、大学段階での実習を通じて得た公認心理師に必要な知識・技能の基礎的な理解の上に、次の（ア）から（オ）までに掲げる事項について、見学だけでなく、心理に関する支援を要する者等に対して支援を実践しながら、実習指導者又は実習担当教員による指導を受け、~~実習施設~~の分野については主要5分野に関する学外施設（略）のうち、3分野以上の施設において実習を受けることが望ましい。ただし、医療機関は必須とする。（以下略）

（ア）心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得

（1）コミュニケーション（2）心理検査（3）心理面接（4）地域連携

（イ）心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成

（ウ）心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ

（エ）多職種連携及び地域連携

（オ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

4 業務

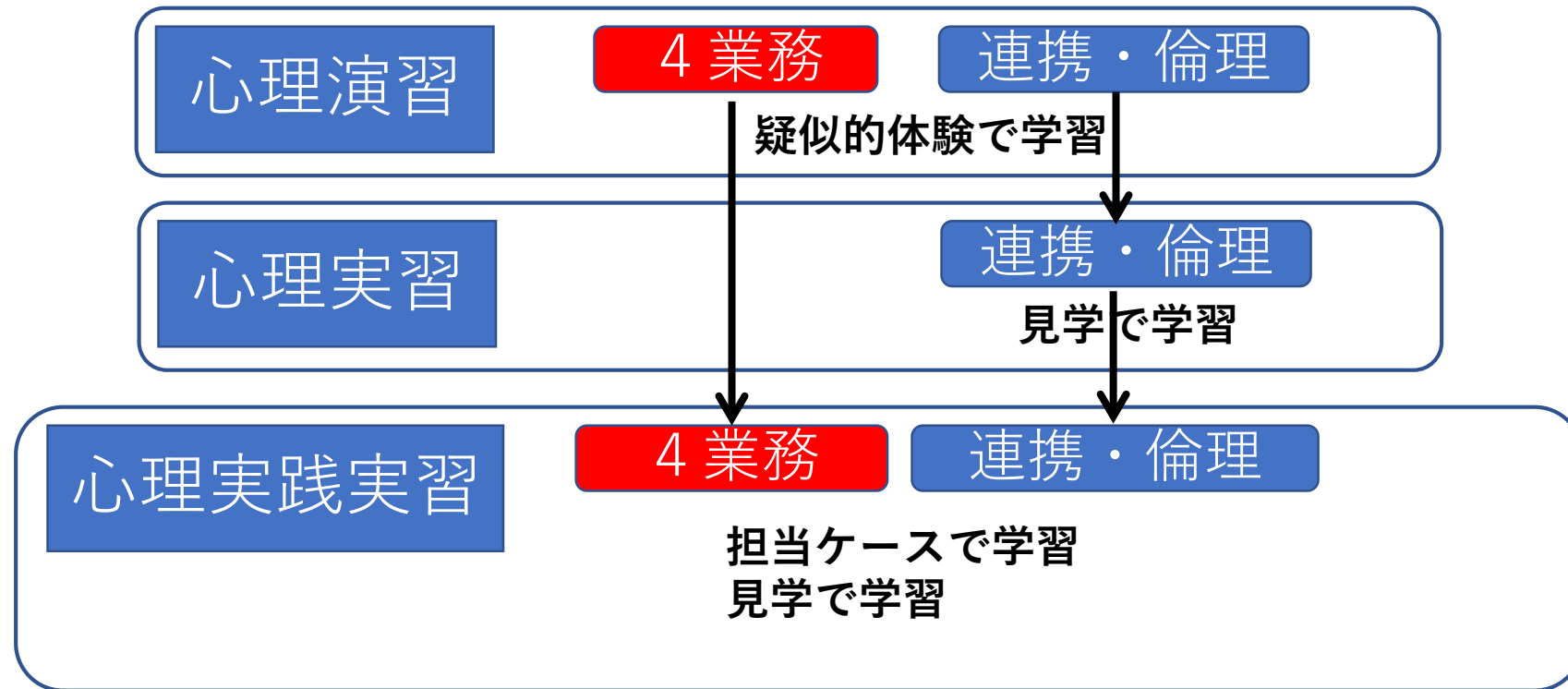
連携・倫理

② 担当ケースに関する実習の時間は270時間以上（うち、学外施設での当該実習時間は90時間以上）とする。

③ 実習担当教員が、実習生の実習状況について把握し、①の（ア）から（オ）までに掲げる事項について基本的な水準の修得ができるように、実習生及び実習指導者との連絡調整を密に行う。

④ 大学又は大学院に設置されている心理職を養成するための相談室での実習は主要5分野のいずれにも含まれないこととして取り扱う。

3. 学部「心理演習」「心理実習」から 大学院「心理実践実習」への接続



< 3種の演習実習の効果的な運用 >

- 「連携・倫理」に関して、心理演習→心理実習→心理実践実習という持続的な学習で、養成する必要がある
 - * 5分野別・難しい場面・倫理的コンフリクトなども扱う
 - * 院修了後の生涯研修にもつなげ、資質向上を図る
- 「4業務」については、疑似体験からいきなり「心理実践実習」に入ることになる
 - * 心理実践実習に入る前の事前教育が重要である
 - * 事前教育も、座学型・疑似体験型が必要となろう
 - * 心理実践実習においても、見学型・チーム担当型・個別担当型という階層が必要となろう

「心理実践実習」の階層（私案）

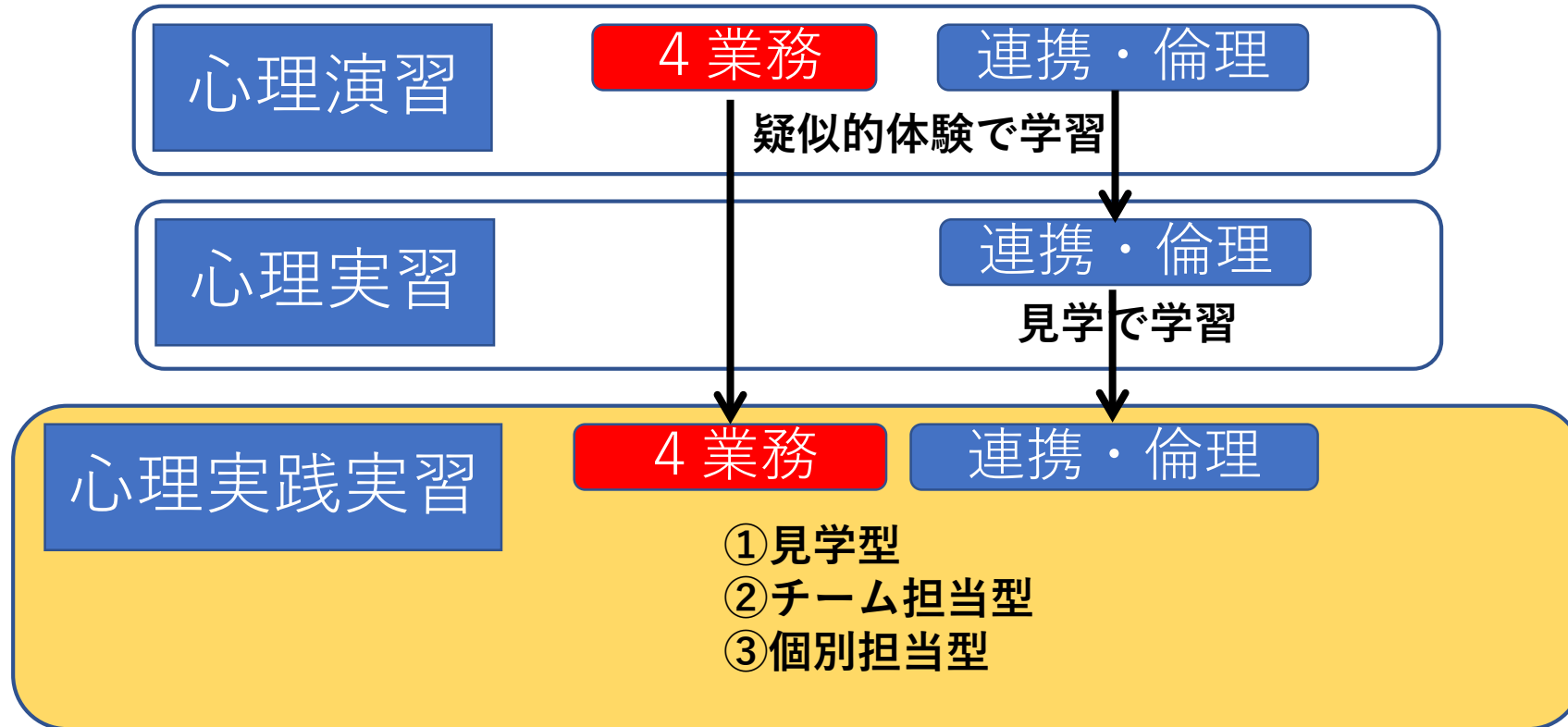
①見学型実習 ・ ・ 支援現場に参加しない見学を通して、課題
発見型学習を行う（学部「心理実習」でも実施）

②チーム担当型実習 ・ ・ 支援チームの一員として、グループ参加、生
活の場（病棟、学級、施設内等）での関与、チーム内検討への参加
* 担当ケースを設定し広い意味での支援を行い、ニーズ把握及び
支援計画の検討を行う

③個別担当型実習 ・ ・ 支援チームの一員であるが、個別ケースを担当
し、心理査定・心理面接・地域支援（コンサルテーション等）を行い、
個別指導や集団指導（スーパービジョン）を受ける

* 附属の心理相談室での担当ケース／病院での心理査定担当など

< 公認心理師実習の全体像 >



4. これまでの臨床心理士養成の実績を活かす

- これまでの心理専門職（主に臨床心理士）養成の実績を活かす
- 職業倫理、心理アセスメント、心理支援、地域支援、生涯学習の考え方、臨床と研究などそのまま公認心理師教育に活かせる
- 大学附属の相談室（心理臨床センター）の実績
- 臨床心理士がさまざまな現場で多職種連携も含め実践を積み重ねているという資産

心理専門職の本質を大切にしている実習とは？

* 帝京大学のカリキュラム・教育体制は教員全員で検討したのですが、内容に対するコメントは元永個人のものとなります。

臨床心理士指定大学院のカリキュラム

- 必修：臨床心理学特論
臨床心理面接特論
心理査定演習
臨床心理基礎実習（修士1年）
臨床心理実習（修士2年）
- 選択必修（5群）
 - 1) 研究法・統計法群
 - 2) 心理学専門領域群
 - 3) 社会心理学群
 - 4) 医学・薬理学群
 - 5) 心理療法群

臨床心理士指定大学院のカリキュラム

- 必修：臨床心理学特論

臨床心理面接特論 → 「心理支援」の公認心理師科目へ

心理査定演習 → 「心理的アセスメント」の科目へ

臨床心理基礎実習（修士1年）

臨床心理実習（修士2年）

- 選択必修（5群）

1) 研究法・統計法群

2) 心理学専門領域群 → 「教育分野」を公認心理師科目へ

3) 社会心理学群 → 「司法・犯罪分野」を公認心理師科目へ

4) 医学・薬理学群 → 「福祉分野」を公認心理師科目へ

5) 心理療法群 ☆心理療法特論、投映法特論、
学校臨床心理学特論は、
臨床心理士養成科目と位置づけ

一部を、
「心理実践実習」として認定

帝京大学の
場合

公認心理師養成のための大学院10科目

1. 保健医療分野に関する理論と支援の展開
2. 福祉分野に関する理論と支援の展開
3. 教育分野に関する理論と支援の展開
4. 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
5. 産業・労働分野に関する理論と支援の展開
6. 心理的アセスメントに関する理論と実践
7. 心理支援に関する理論と実践
8. 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
9. 心の健康教育に関する理論と実践
10. 心理実践実習（実習の時間が450時間以上のものに限る）

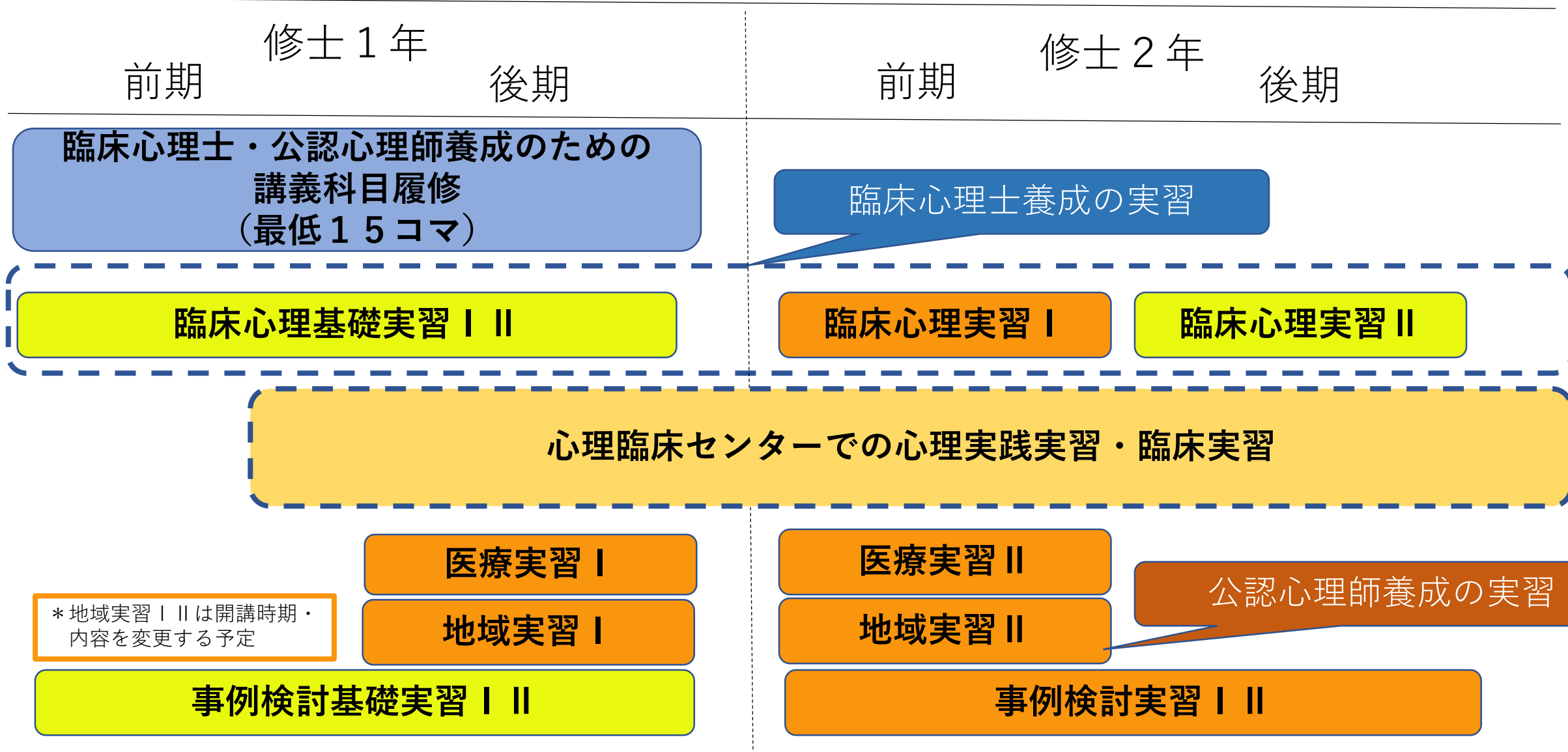
* 下線 ・ ・ 新たに開講した公認心理師科目（帝京大学の場合）

心理実践実習の設定（帝京大学の場合 [定員15名]）

- これまで行っていた臨床心理実習等を、心理実践実習として位置づけしなおす
 - * 医療臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ、地域臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ、事例検討実習Ⅰ・Ⅱの設定
- 臨床心理実習はⅠ・Ⅱに分割し、Ⅰのみを心理実践実習として位置づける
 - * この科目（臨床心理実習Ⅰ）でセンター実習を行う

これらの科目が、「心理実践実習Ⅰ～Ⅶ」としてカリキュラム化

大学院修士課程の実習等のスケジュール（概要）



実習内容と時間数（帝京大学の場合）

- 医療実習Ⅰ：5日間の連続実習 [約60h]
- 地域実習Ⅰ：週1日の継続実習 [90h]
- 医療実習Ⅱ：週1日の継続実習 [90h]
- 地域実習Ⅱ：見学実習 [30h] * 医療以外の4分野
- 臨床心理実習Ⅰ：心理臨床センターでの実習 [約280h]
- 事例検討実習ⅠⅡ：センターケースの事例検討 [60h]

* 合計 約610h

<地域実習ⅠとⅡは内容を入れ替え、開講時期を前倒しする方向で検討中>

< 大学附属の相談室（心理臨床センター）での心理実践実習 >

- 大学八王子キャンパスに隣接する場所に設置（2001年度）
- 施設新築及びスタッフ増員（2016年度）＊公認心理師養成にも対応
相談室 6 室、プレイルーム 3 室、グループ室・院生室・
スタッフ室・事務室・待合室など
- スタッフ：センター長（兼任）、臨床教員（専任） 3 名、
非常勤相談員 2 名、非常勤助手（受付担当） 1 名、
実習補助員（3 名）、大学院教員が相談員（兼任）
心理修練生（5 名）、大学院生（実習生）定員15名
- 個別相談、親子並行面接、心理査定、夫婦面接、心理教育、啓発活動などの多様な活動を展開

< 心理臨床センターでの心理実践実習 >

①見学型実習 ・ ・ センターガイダンス

②チーム担当型実習 ・ ・ a. センター運営実習（5段階評価）

b. グループ実習（3種のグループ）

* 未就学児母親支援グループ・発達支援グループ・シニアグループ

c. 来談ケース陪席

③個別担当型実習 ・ ・ a. 来談ケース担当

* S V、ケースカンファレンス

b. 附属幼稚園ケース担当（訪問）

センター運営実習 (5段階評価)

ロールプレイを行いながら、
0.センター全体の理解
1.電話対応
2.受付対応
3.電話連絡
4.電話申込受付
を実践的に習得

現場参加型
準備教育
(課題達成型)



センタースタッフチームの一員として、
運営におけるケース対応が可能となる
(電話インテイク等)

課題発見型

運営実習の5段階		実習課題	到達確認欄
0	センターの環境を整えよう!	<input type="checkbox"/> センター内の見学 <input type="checkbox"/> 見取り図からセンターを知る <input type="checkbox"/> 組織図からセンターを知る <input type="checkbox"/> センター運営実習ガイダンスを受ける	
1	クライアントさんと出会おう!	<input type="checkbox"/> 外線3(学内回線)対応のロールプレイ <input type="checkbox"/> 「面接機関にふさわしい身なりと態度」 <input type="checkbox"/> 「秘密保持の意義と守秘義務の範囲」	
	中間ふりかえり (担当/提出先:〇〇先生)	<input type="checkbox"/> レポート提出:センター運営実習ふり返り 「運営実習で何をしたかーセンターの機能と クライアントさんを受け入れることについて」 <input type="checkbox"/> スタッフからのフィードバック	
2	センター運営の担い手になろう!	<input type="checkbox"/> 受付対応のロールプレイ <input type="checkbox"/> 「組織としての連携と“名乗る”こと」 <input type="checkbox"/> 「治療契約・治療同盟と面接料」	
3	クライアントさんに電話連絡しよう!	<input type="checkbox"/> 外線対応(かける)のロールプレイ <input type="checkbox"/> 外線対応(うける)のロールプレイ <input type="checkbox"/> 「心理臨床家にできること・できないこと」 <input type="checkbox"/> 「“枠”の遵守と臨機応変な事例対応」	
4	来談のお申し込みを受け付けよう!	<input type="checkbox"/> 外線対応(新規受付)のロールプレイ <input type="checkbox"/> 「専門用語を使わずに専門性を伝える」 <input type="checkbox"/> 「臨床心理士の職責と社会的役割」	
	センター運営実習のふりかえり (あなたの担当教員 先生)	<input type="checkbox"/> レポート提出:「臨床心理的援助とは」 <input type="checkbox"/> スタッフからのフィードバック	

(出典) 公認心理師を含めた対人援助職の初期実地実習のあり方に関する研究,
第1回帝京大学研究交流シンポジウム,21,2018.
*主な作成担当スタッフ:中野彩、鶴田久美、笠井さつき

心理専門職の基盤を作る初期教育

- [参加型] 実習に入る前の準備教育の重要性
 - * [参加型] 講義・演習（疑似体験含む）の充実
- 自らの[気づき]への意識とその言語化の重要性
 - * 実習体験を深めるための大前提
- 関与しながらの観察の理解と実践
 - * 言葉以外の世界、細かな相互作用、客観と主観
- 関わりの基本的姿勢
 - * 職業倫理、チーム、コミュニケーションの基本
- 多様な見方、介入理論にふれる、自ら学ぶ姿勢、研究
 - * 臨床心理学的考察を主体的に行う姿勢の獲得

5. 全国で質の高い実習を構築する

- 全国の大学・大学院の連絡・協働のための組織が必要
↓
- 日本公認心理師養成機関連盟（公養連）
↓
- 第1回研修会の実施 * 実習について検討することが必要
↓
- 「心理実習」「心理実践実習」の手引きの作成（中間報告）
* 実習検討チーム（学部・大学院）による検討
↓
- 第2回研修会の実施 * 実習の手引きをもとに検討
- 現在121校が参加
* 全国で質の高い実習を構築するための検討を進める

一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟 発足へ

2019年2月24日(日)に開催された臨時総会にて、本連盟の法人化及びその手続きが承認されました。これを受けて、本年4月1日に一般社団法人の登記申請を行い、4月5日に「一般社団法人 日本公認心理師養成機関連盟」の登記が完了しました(設立日:2019年4月1日)。引き続き、法人の事務所の設置や口座開設等の諸手続きが進められています。

会員には、5月に会員移行及び会費納入のご連絡が、一般社団法人日本公認心理師養成機関連盟より郵送される見込みです。

2019年度定例総会・法人設立記念行事を開催

2019年度定例総会及び法人化設立記念行事を開催します。詳細が決まり次第、ホームページ、メール、郵送にてご連絡致しますので、ご出席ください。

日時:2019年7月21日(日)午後(予定)

臨時総会時にお伝えしていた6月23日から変更になりました。

会場:跡見学園女子大学 文京キャンパス

一社) 日本公認心理師協会が入会手続き開始

日本公認心理師協会(JACPP)は、これまでの臨床心理士等の心理職の実績や経験を活かした公認心理師の職能団体です。公認心理師の質を高め、国民の期待に応える資格となっていくために、職能団体は重要です。本連盟もこの協会の協力・協賛団体となっています。

入会手続き:ホームページより <http://jacpp.or.jp/>

2019年9月末日までの入会の場合、入会金1万円が全額無料となります。

協会が行う研修情報(4月20日現在)は以下の通りです。詳細は協会のホームページをご覧ください。

日本心理臨床学会 学会企画シンポジウムのご案内

シンポジストには、厚生労働省、いわゆる「2号ルート」(学部卒+実務経験)での養成を引き受ける医療機関の院長、日本ソーシャルワーク教育学校連盟関係者等をお招きし、さまざまな立場から公認心理師養成における実習のあり方や実際、課題について議論を深めます。

テーマ:公認心理師養成における「心理実践実習(大学院)」と「心理実習(学部)」の実際—養成機関と関係団体、心理臨床現場とのコラボレーション

日時:2019年6月8日(土)13:00~15:00

会場:パシフィコ横浜 メインホール

日本心理臨床学会・公認心理師養成機関連盟 合同ワークショップ

当連盟が学会と共催する合同ワークショップです。当連盟の実習検討チームが作成を進めている学部・大学院の「実習の手引き」(実習指導マニュアル)をもとに、実習の進め方の実際について具体的に検討していきます。皆様のご参加をお待ちしています。

テーマ:大学・大学院における公認心理師教育の対応と工夫

日時:2019年6月9日(日)13:00~16:00

会場:パシフィコ横浜 メインホール

6. 「実習指導マニュアル」と 「実習記録ノート」

- 公養連の実習検討チーム（学部班・大学院班）によって、「実習の手引き」の中間報告がまとめられた。
- この中間報告をもとに、実習に関する研修会（第2回）が、2019年2月9日（土）に開催された

<実習検討チーム（学部班）>
とりまとめ
宮崎昭先生（立正大学）

<実習検討チーム（大学院班）>
とりまとめ
岡本祐子先生（広島大学）

「実習の手引き（学部）」 * 目次（一部）

- I. はじめに：学部の「心理実習」科目の法令上とカリキュラム上の位置づけ
- II. 学習目標
- III. 授業の概要
- IV. 実習内容、施設訪問実習
- V. 実習記録について
- VI. 実習にあたっての留意点
（別冊）実習記録簿など

*この手引きは、公認心理師養成機関連盟の会員には配布しています

「実習の手引き（大学院部）」

* 目次（一）

- I. 心理実践実習の構造と位置づけ
- II. 心理実践実習の目的と学習課題
- III. 実習の留意点
- IV. 心理実践実習施設概要・一覧
- V. 心理実践実習の実習計画のモデル案
- VI. 心理実践実習の全体構造のモデル案
- VII. 事後学習
- VIII. 成績評価
- IX. 実習の記録（実習ノート）のモデル

* この手引きは、公認心理師養成機関連盟の会員には配布しています

「実習記録ノート」について

* 実習生氏名、日付、実習時間、ケース担当時間、累積実習時間
実習場所、活動内容、学び・気づき・疑問点など、
1日のまとめ、実習指導者のコメント、指導者印など

- 法令に基づく実習が行われているか記録する
- 実習生が、実習での学びを整理し学びを深めるために用いる
 - * 事実（活動内容・観察事項）と感じたこと（内的体験・判断）
を明確に分ける体験の重要性
- 実習指導者・実習担当教員が、実習指導するための素材とする
 - * 臨床心理学的考察にどうつなげていくかの重要性
 - * 課題発見型学習（主体的学習）にどう展開させるか

7. 実習成果をどう評価するか（私案）

レベル①ミニマム・・・社会人として最低限の姿勢

レベル②対人援助職ベーシック

・・・チームの一員として動ける基本的ふるまい

レベル③臨床心理ベーシック

・・・公認心理師としての見立てと基本的かかわり

レベル④臨床心理アドバンス

・・・公認心理師として実践的に自ら学び深める

心理演習

心理実習

心理
実践実習



「評価」はするけれど・・・

- 心理専門職の醍醐味を我々は深めているか？
- 正解のない中での深いかかわりあいの本質への気づきは？
- 心理専門職としての人生は、その院生の将来をはたして豊かなものにするか？
- ケースの存在の重みや深みからどれだけ支援者が学んでいるか？
 - * 教員自身がどれだけケースから学んでいるか？
- 臨床と研究の深い相互作用の醍醐味へどういざなうか？

8. 経過措置で学部卒業の大学院生の養成

- 「心理演習」「心理実習」を履修していない院生の進学
 - * 修士1年で「心理演習」に該当するロールプレイ等の実施
(臨床心理基礎実習 [臨床心理士科目] が適切)
- 「公認心理師の職責」「関係行政論」を履修していない院生の進学
 - * 大学院において「公認心理師の職責」を教育する機会を作る必要あり
 - 心理実践実習の中の事前・事後ケース学習で具体的に学習
 - * 「関係行政論」は「関連法規行政論」で対応可能

< 出典・参考（引用順） >

- 文部科学省・厚生労働省（2017）：

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu-Kikakuka/0000169346.pdf>

- 文部科学省・厚生労働省通知（平成30年11月22日）「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」の一部改正について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000412723.pdf>

- 帝京大学心理臨床センター：帝京大学心理臨床センター活動報告．帝京大学心理学紀要,23:69-89,2019.
- 公認心理師を含めた対人援助職の初期実地実習のあり方に関する研究．第1回帝京大学研究交流シンポジウム,21,2018.
- 公認心理師養成機関連盟：

<https://psychologyteacher.jimdo.com/>

< 問合せ先 > 元永拓郎 motonaga@main.teikyo-u.ac.jp